

Wimbledon から Yamaguchi へ

“バドミントンをモデルとしたインクルーシブスポーツによる地域活性化・まちづくりコンテンツ創出プロジェクト”

1 背景 (ウインブルドンとバドミントン世界選手権)

ウインブルドンテニス大会とバドミントン世界選手権（これからのスポーツのあるべき姿⇒健常者も障がい者も一緒！）スマイルクラブが視察したウインブルドンテニス(ロンドン)では、車いすテニスと健常者のテニスが同時同一会場で開催。またスマイルクラブからパラバドミントン日本代表選手がバドミントン世界選手権（2019年スイスバーゼル）に出場（バドミントンとパラバドミントンの同時同会場開催）。スポーツのあるべき姿は、健常者も障がい者も一緒のインクルーシブ大会！



ウインブルドン大会の様子（左 車いすテニス）

2019年バドミントン世界選手権（パラバドミントン同時開催）

2 スマイルクラブの沿革等

- ・2000年 総合型地域スポーツクラブのNPOとして設立、発達障がい児「運動が苦手な子の教室」等でスタート
- ・2014年 山口支部（山口市内）設立
- ・2021年 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰受賞
- ・2022年 総合型地域スポーツクラブ登録認証クラブ ※会員数約1,000人中、障がい児約400人

◆事業内容

- ・アダプテッドスポーツ（障がい者スポーツ）
発達障がい児・者も参加できる「運動が苦手な子の教室」（児童）、「チャレンジスポーツ教室」（社会人の障がい者）
- ・障がい者スポーツイベント（パラスポーツ含む）
IDバレーボール大会（知的障がい者バレーボール大会）、パラバドミントン大会等
- ・共生社会実現プロジェクト事業の推進（全国の学校を中心にパラスポーツによる出前授業を実施中）
- ・児童発達支援および放課後等デイサービス事業（3店舗）障がい児の運動療育支援
- ・スポーツ教室・・・バレーボール、バスケットボール、バドミントンの教室や講習会等
- ・地域との連携・・・山口市、山口県との連携事業

2016年からパラスポーツ（パラバドミントン）による出前授業の継続開催（山口市内の小中学校2~3校）
2017年から3年間、山口県（障害者支援課）とのコラボによる障がい者スポーツイベント（山口県知事も参加）
2018年から3年間、山口市内の小中学校5~6校パラバドミントン出前授業を開催
2022年度（第1回大会）から健常者も障がい者も参加可能なインクルーシブバドミントン大会を開催
2023年度（第2回大会）は台湾選手も参加し、東アジア地域として同大会を開催



子どもたちの車いすバドミントン体験風景



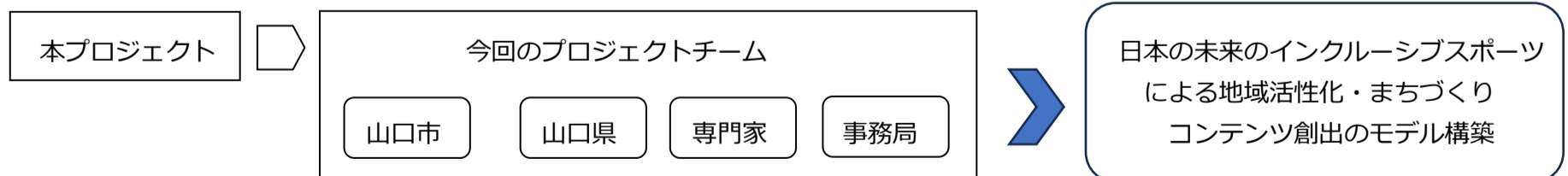
インクルーシブバドミントン大会風景

3 本プロジェクト内容

1) プロジェクト体制

※事務局はNPO法人スマイルクラブが担当

未来モデルの構築



2) 実施内容と目標・・・本事業で行う取組の概要

- 1) 【大会名】 “障がい者も健常者も参加できるバドミントン大会（インクルーシブ大会）” スマイルカップ
- 2) 【日時】 2025年3月1日（土）、2日（日） 主催 NPO法人スマイルクラブ 後援 山口市、山口県（予定）
- 3) 【会場】 山口県維新百年記念公園アリーナ（山口市維新公園4丁目1番1号）
- 4) 【内容】 ・インクルーシブ大会（健常者も障がい者も参加可） ・バドミントン体験会（車いすバドミントンとバドミントン）
- 5) 【参加者】 目標 延260人（うち、海外からの参加選手 10人、家族・関係者 10人 計20人）内 海外招待選手6人
- 6) 【参加費用】 大会 1人500円（体験会は無料）